

平成30年度南筑後地区社会教育委員交流会 報告

担当：船津

1 趣 旨	南筑後教育事務所管内の社会教育委員をはじめ、社会教育行政関係者が一堂に会し、各市町における社会教育委員としての自覚や役割等について共有するとともに、これからの社会教育委員の在り方についての意識を高める。
2 対象者	各市町社会教育委員、各市町社会教育行政担当職員、各市町公民館職員、各市町教育委員 等 (54名)
3 期 日	平成30年9月13日(木)
4 場 所	南筑後教育事務所 第1研修室
5 内 容	<p>【講話】「人権課題を自分のこととして」 南筑後教育事務所 人権・同和教育室 社会教育主事 藤原 英記</p> <p>【協議】『学校を核とした地域づくり』に向けて、地域の人づくりをどう行うのか。」 南筑後教育事務所 社会教育室 社会教育主事 船津 涼</p>

6 評 価

(1) アンケートから

評価項目		4	3	2	1	平均
総合評価	本日の研修会について総合的に評価してください。	25	23	0	0	3.5

◆講話について

- ホームレスの方に対する差別が自分の心のどこかになかったか、反省させられました。誰でもない得ること、他人事として考えないことが大事だと思います。
- ホームレス問題を取り上げ、新聞等の客観的資料を提示され、グループでの話し合いができたことは、大変良かった。根拠を持った感想や意見を出すことができたからです。参加者自身が考えさせられ、自分に何ができるかを認識できた。
- 大人のまなざし、社会のまなざしは私たち大人が作っているのかもしれない。

◆協議について

- それぞれの地域の話が新鮮だった。初めて社会教育委員になったので、驚くとともに参考になった。
- カフェ形式で行われたことで、とてもよかった。同じテーブルの方とも親しく話せてよかった。
- 学校開放を望む意見が出たが、危険性をともなうことも考慮してほしい。
- 社会教育委員の役割、活動目標を具体的にビジョンとして掲げて活動していく事が重要だと思った。
(全体的な感想・次年度への要望)
- 話がしやすい雰囲気があり、たくさんのお土産があった研修でした。ありがとうございました。
- 講義なのか、演習なのか、学校の生徒と違って、しゃべりが上手な人が多いので、まとまらないことが多いのでは。若い人の発言が聞かれないのは、大変気になる。参加できるよう、講師が指導すべきでは？
- 課題をもう少ししぼり込んで協議した方が、意見がまとまったのではないか。

(2) 成果と課題

- ホームレス問題に焦点化した話題で、演習を交えた人権・同和教育に関する講話であったので、参加者は意見を交流しながら自分の人権感覚について考えることができた。
- 昨年に引き続き、協議会をワールドカフェ方式にして、2度の座席変更を行って交流したことで、それぞれの市町の社会教育委員の取組について活発に情報交換をすることができた。
- 社会教育委員の目的や役割について考える場がほしいという意見もあった。